



Tokyo Gakugei University Repository
東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	教育系サブジェクトリポジトリとしての展開
Author(s)	高井, 力
Citation	
Issue Date	2009-07-10
URL	http://hdl.handle.net/2309/105474
Publisher	東京学芸大学
Rights	

平成20年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系)
～機関リポジトリの更なる普及と新たな価値創出に向けて～

Part5 成果報告(発表) リポジトリを極める -Fresh Knowledge Session-

教育系サブジェクトリポジトリ としての展開

平成21年7月10日

東京学芸大学 教育研究支援部 情報基盤課 学術ポータル係

高井 力

東京学芸大学リポジトリの歩み

- 平成16年度 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア
実装実験プロジェクト参加
- 平成17年度 CSI委託事業採択・システム導入
 - 平成18年3月 NTT製システム導入
 - 平成18年4月 東京学芸大学リポジトリ公開
- 平成18年度 「教育系サブジェクトリポジトリとしての展開」
教育系大学としての特徴を打ち出しCSIに応募
 - この年は著作権処理などコンテンツの拡充に重点
- 平成19年度 教育系サブジェクトリポジトリ基盤整備

E-TOPIA の歩み

～～ 教育情報ポータルサイトを目指す ～～

- 平成13年9月 教育系電子情報ナビゲーションシステムを導入(試行運用)
- 平成14年10月 教育情報のポータルサイトである教育系電子情報ナビゲーションシステム(E-TOPIA)のサービスを開始

E-TOPIA のコンテンツ

- 教育総合DB

教科書DB

学芸大学紀要の本文

学内刊行紀要論文等メタデータ

学位論文メタデータ

貴重書DB

※ リポジトリコンテンツとも重なる

※ 教育主題からの検索も可能としていた

- 教育実践DB (学内別システム)

- 教育関連Web検索

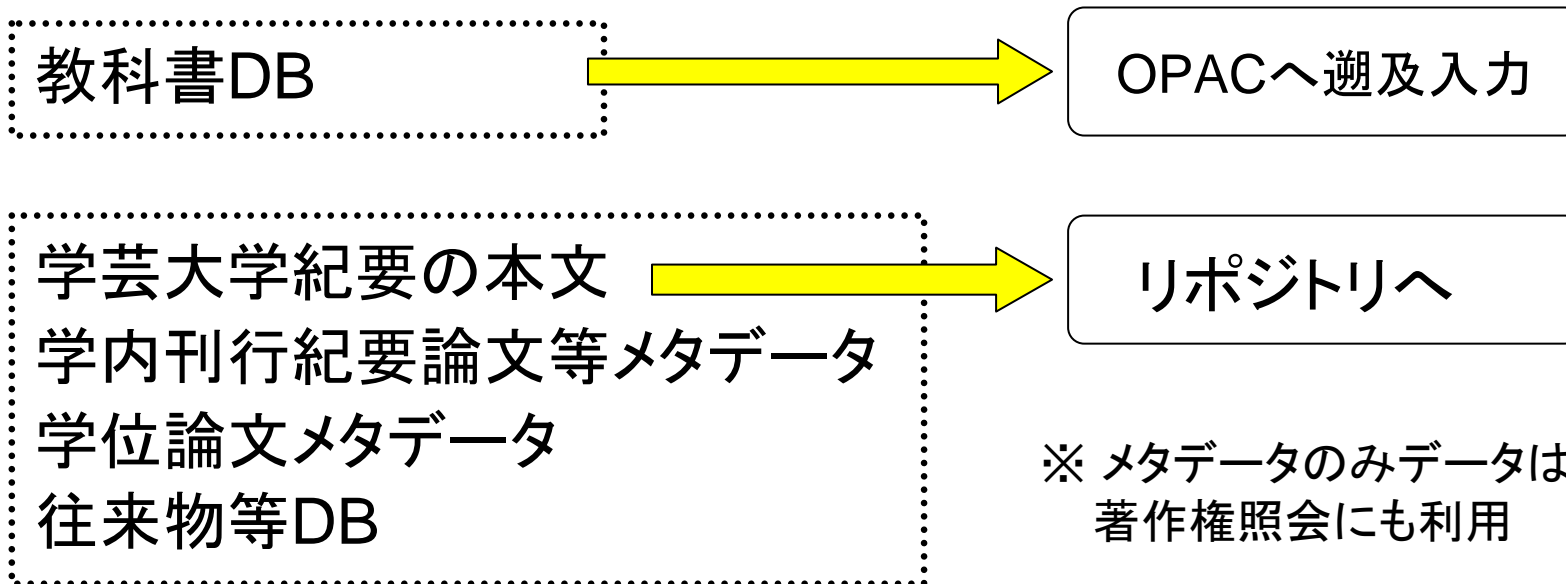
- 統合検索

- パスファインダー(学外Webリンク)

教育情報ポータルサイト(E-TOPIA) を発展させる形でリポジトリを展開

- リポジトリをE-TOPIAの中に位置づける
 - ※ 新たなサイトや名称は設けない
 - ※ リポジトリの正式名称は「東京学芸大学リポジトリ」
(図書館情報発信WG, 平成18年にリポジトリについて集中審議)
- 教員の個々の教育研究成果も公開し教育情報ポータルサイトとして強化を図る
- 平成19年6月 E-TOPIA リニューアル

教育総合DBからリポジトリへ

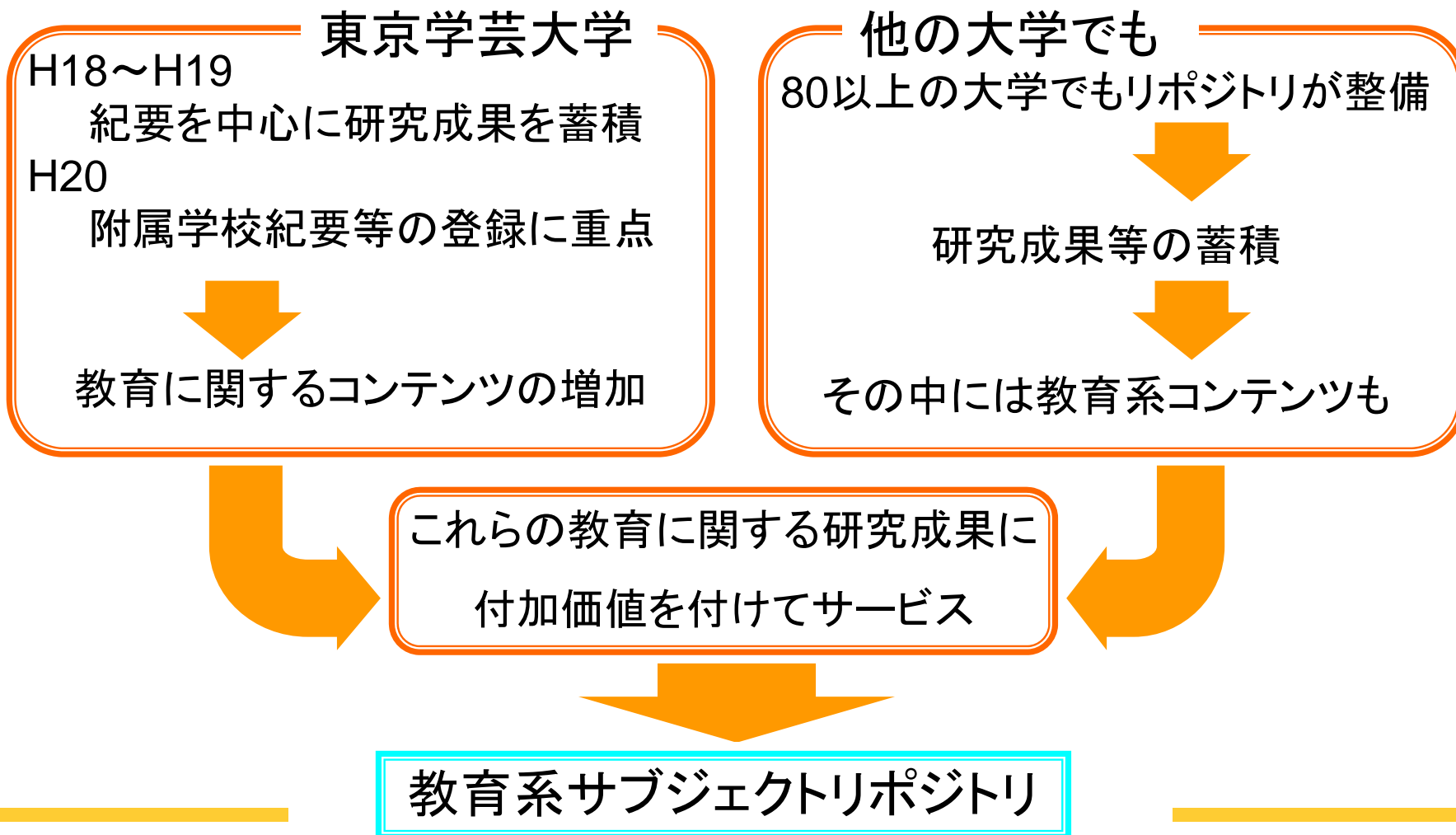


※ 教育主題からの検索も維持したい。

※ リポジトリとして付加価値は？

→ **教育系サブジェクトリポジトリ**

教育系サブジェクトリポジトリの目指すもの



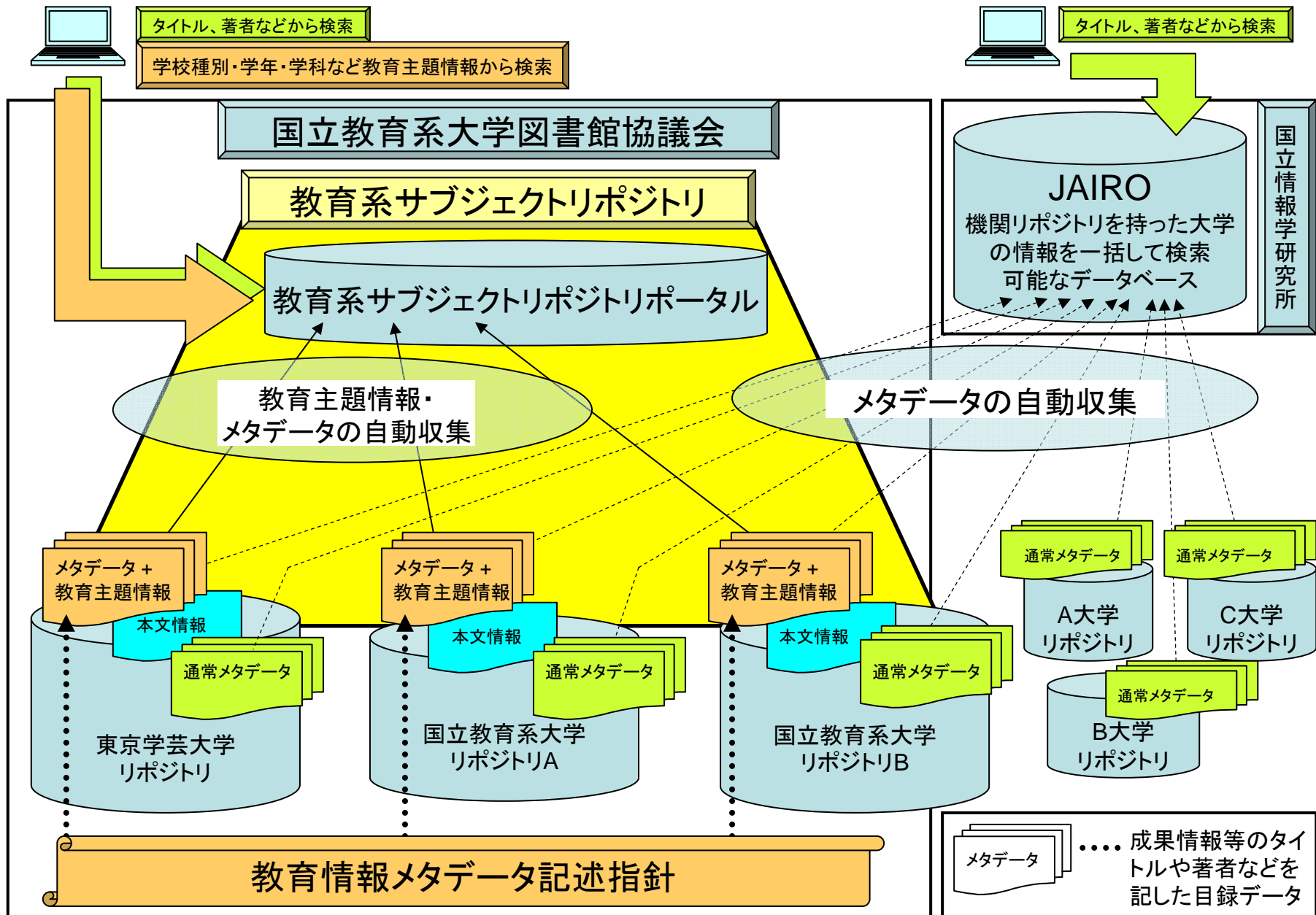
付加価値

- 教育に関する研究成果を
- 複数のリポジトリから検索
- 教育独自の主題情報から検索

教育系サブジェクトリポジトリ構築のために — 2つのツール —

1. 教育に関する情報を統一した形式でメタデータの中に記述する枠組み
→ 教育情報メタデータ作成基準
2. 複数のリポジトリからメタデータを収集し検索可能とするデータベースシステム
→ 教育系サブジェクトリポジトリポータル

教育系サブジェクトリポジトリ 概念図



教育情報メタデータ記述指針

国立教育系大学図書館協議会了承(2008.10.23)

- ・ 既存のメタデータの項目(Subjectなどの項目)の中に、データの内容としてそのデータが何を表すかを記述する。
- ・ 既にあるメタデータの記述の枠組みは変更しない。

記述の例)

Subject: STYP:中学校

※ データ中にそのデータが何を表すかも含めて記述する。

上記の場合、「STYP:」が、このデータが学校種別(小学校、中学校等)についてのデータであることを示す。

記述の例2)

Subject: SSUB:理科

※ 「SSUB:」が教科を表し、理科を主題とするデータを表す。

教育系サブジェクトリポジトリポータル

- 他大学から教育情報(メタデータ)を選択的に収集
 - 教育主題が付加されているメタデータのみ収集
(『ETYP:』というデータを持つもののみ収集)
 - 多くのリポジトリが標準で持っているデータ自動収集の仕組み(oai_dc)を利用
 - 標準の仕組みを利用するためシステムからデータを収集される側のリポジトリではシステムの改修が不要
- 教育主題から検索するインターフェイスを実装

URL: <http://ir.u-gakugei.ac.jp/edu-rp/>

教育系サブジェクトリポジトリポータル
Portal to Resource about Education in Institutional Repository

検索

データ提供機関: すべて

検索

詳細検索

一覧表示

著者

所属一覧

全一覧

東京学芸大学 [659]

大阪教育大学 [17]

兵庫教育大学 [36]

奈良教育大学 [26]

AND すべて

AND タイトル

AND 著者

AND 学校種別

AND 教科・領域

AND

AND

AND 教育情報の種別

AND 学校種別

AND 教科・領域

AND 学年

国語
社会
算数
数学
理科
生活
図画工作
音楽
美術
工芸
書道
技術
家庭
保健体育
英語
情報
総合的な学習
道徳
特別活動

一覧の表示件数: 20 件/ページ

検索 クリア

教科など教育特有の
アクセスポイント
から検索

システム内部では
単純に“SSUB:理科”
でフレーズ検索

一覧表示

著者

所属一覧

全一覧

東京学芸大学
[659]

大阪教育大学
[17]

兵庫教育大学
[36]

奈良教育大学
[26]

1 2 3 次

- 1 [つながりの中で「わたしたちの科学」をつくりだす理科学習](#) -- 兵庫教育大学_教育関連情報
- 2 [ともに科学概念を構築する子を育む理科学習](#) -- 兵庫教育大学_教育関連情報
- 3 [小学校理科における主体的な実験計画を支援する学習環境の開発と授業実践](#) -- 兵庫教育大学_教育関連情報
- 4 [小学校理科における科学的概念の形成を促す学習環境の開発と授業実践に関する研究](#) -- 兵庫教育大学_教育関連情報
- 5 [〈授業の窓〉 課題に取り組む楽しさ](#) -- 東京学芸大学_教育関連情報
- 6 [科学的な表現力を豊かにする学習活動：新素材・新技術](#)
東京学芸大学_教育関連情報
- 7 [〈巻頭言〉「新しい中学校理科の創造」\(2年次\)](#) -- 東京学芸大学_教育関連情報
- 8 [〈授業の窓〉 不思議なミクロの世界](#) -- 東京学芸大学_教育関連情報

メタデータ表示

教育系サブジェクトリポジトリポータル >
 東京学芸大学 >
 東京学芸大学_教育関連情報 >

タイトル : 〈授業の窓〉 課題に取り組む楽しさ
 ジュギョウノマドカダイニトリクム タンサ

著者 : 宮内, 卓也
 ミヤウチ, タクヤ
 宮内, 卓也(東京学芸大学教育学部附属世田谷中学校(理科))

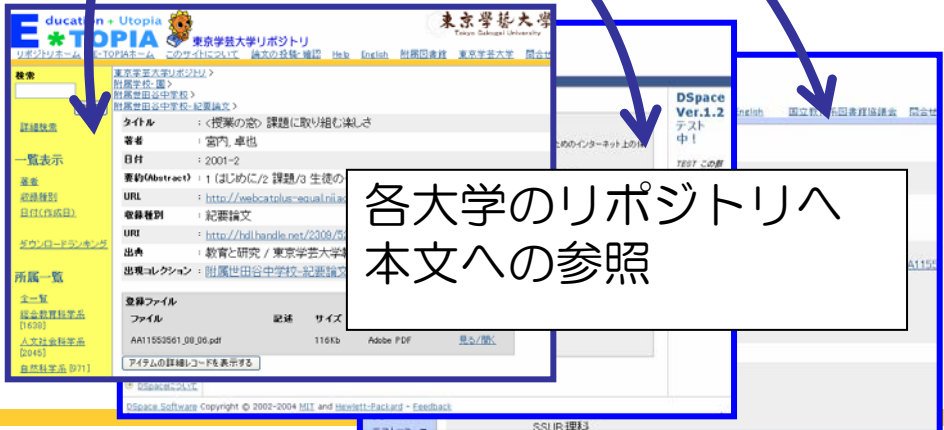
URL・識別情報 : <http://hdl.handle.net/2309/5272>
<http://webcatplus-edu>
 教育と研究 / 東京学芸大学
 AA11553561
 8
 20
 21

日付 : 2001-02

キーワード : ETYP:教育実践
 中学校理科
 力学
 STYP:中学校
 SSUB:理科

提供機関 : 東京学芸大学_教育関連情報

各大学のリポジトリへ
 本文への参照



東京学芸大学
 Tokyo Gakugei University

DSpace
 Ver.1.2
 テスト
 中!

タイトル : 〈授業の窓〉 課題に取り組む楽しさ
著者 : 宮内, 卓也
日付 : 2001-2
要約(Abstract) : 1 (はじめに)2 課題/3 生徒の
URL : <http://webcatplus-edu>
収録種別 : 紀要論文
URL : <http://hdl.handle.net/2309/5272>
出版 : 教育と研究 / 東京学芸大学
出現コレクション : 附属世田谷中学校-紀要論文

登録ファイル

ファイル	収録	サイズ
AA11553561_08_06.pdf	1161b	Adobe PDF
アイテムの詳細ページを表示する		

DSpace Software Copyright © 2002-2004 MIT and Hewlett-Packard - Feedback

現在までの経過

- H18 国立教育系大学図書館協議会(以下「協議会」)の下の
学術情報等収集・発信検討ワーキンググループ
「リポジトリを進めるに当たってなにか協力できないか」
(共同リポジトリ? メタデータの共有?)
- H19 同WGで、教育情報メタデータ記述指針(案)をまとめる
学芸でサブジェクトリポジトリポータルシステム構築
大阪教育大学、兵庫教育大学、奈良教育大学の協力を
得て動作実験
- H20 教育情報メタデータ記述指針、協議会総会では承
シンポジウム等での内外へのアピール・意見交換
システム改善し、3月に一般公開

今後の課題

- 教育情報(主題情報・本文情報)の拡充
- 継続的なシステム・記述指針の見直し
- システムの評価
統計機能の実装などによる評価
教育情報の可視性は上がるのか
(適切な情報発見に役立っているのか)
- リポジトリ以外の教育情報源

ご清聴ありがとうございました